

今どきリフォーム事情

～ バリアフリーにする ～

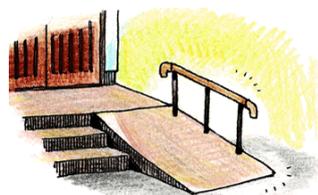
家の事故の第2位は転倒です。昔に建てられた家はバリアフリーが意識されていないため、段差があることが多いです。「こけない家」にすることが大切です。

◆将来を考えて生活しやすい家に

部屋の仕切りが一段高くなっていたり、敷居があって、スムーズに動けない…なんてことはありませんか？ こける要素を取り除くと、生活しやすくなります。特にお風呂は、段差があって滑りやすいと転倒の恐れがあるので、なるべく段差をなくして、出入りを簡単にすることが安全につながります。開き戸や折れ戸だと、転倒した時に扉が開けられないケースもあるので、片引き戸にするのがおすすめです。また、滑りにくい床にすることも、バリアフリーのひとつです。お風呂は、水にぬれるので滑りやすくなる場所です。最近はお風呂の床材も色々な素材があるので、安全面を考えて、滑りにくく、水はけが良いものを選びましょう。

◆家の敷地に入るところから考える

雨の日に滑りやすい石の上を歩いて、段を上ったりするようであれば、スロープに変えると危険を回避出来ます。車椅子になった時に、敷地に入りやすく、上がりやすくすることも考えておきましょう。



◆手すりを取り入れる

手すりがあった方が良い場所に、手すりを付けられていますか？段差がある玄関、浴槽の横、湯船に出入りする時の壁、浴室に出入りする時など、滑りやすい危険がある場所には手すりを付けておくのがおすすめです。手すりがあると無意識に持って危険を回避できるので、動ける時から付けておくとう安心です。

棟梁の日記

皆さん！こんにちは！

夏休みに旅行やキャンプを計画されているご家庭も多いのではないのでしょうか。コロナ禍の中で始まったアウトドア人気は、第二次キャンプブームとも呼ばれるほどでした。最近は少し落ち着いたようですが、キャンプブームでキャンプにはまった人や、コロナ禍以前からキャンプを楽しんでいた人には、引き続き人気です。

キャンプ場が快適に整備されたり、キャンプグッズが機能や見た目、価格の面で進化したことも人気の理由でしょう。キャンプの種類も様々です。家族で行う「ファミリーキャンプ」(ファミリーキャンプ)、友達同士や複数の家族が集う「グルキャン(グループキャンプ)」(一人一人が楽しむ「ソロキャン」、最近ではソロキャンパーが集まる「ソログル」や女子キャンも人気です。

また、家の庭やウッドデッキにテントを張る「庭キャン」や、マンションやビルの屋上で行う「屋上キャンプ」は、キャンプの練習にもよさそうですね。

ランタンやバーナー、寝袋などのキャンプグッズは防災グッズとしても役立つので、お手頃なところから試してみてもいかがでしょうか。

- ・会社名 有限会社 野瀬建築 (創業昭和37年) 地域と共に六十四年 建設業許可 (般-3) 第6685号 設計事務所登録第2-1154号
- ・提供できるもの 介護リフォーム工事・リフォーム工事・耐震工事 (介護用住宅)
- ・モットー 安心出来る住まいの提案。
- ・会社の場所 三重県津市高茶屋七丁目6番36号
- ・連絡先 フリーダイヤル 0120-34-1829
- ・E-mail nose@noken.jp
- ・ホームページ <https://www.noken.jp/>

※配信の停止を希望される場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください。



今年の梅雨入り遅かったですね、この後夏はどうなるのでしょうか、何か嫌な予感がしてしまいます。皆さんもご自愛下さい。来月も頑張ってお届け致します、お楽しみに！